

## 7. 来場者の平準化対策について

### 平準化対策(日別・時間別)

最大輸送力検討の結果、来場者に安全・円滑・快適に来場してもらう限界は全体で18万人程度と考えられる。最大日相当(現計画21.5万人)の日には藤が丘や八草で1時間以上の待ち時間を発生させ、大きな滞留の危険性も発生する。

無論、臨時駐車場確保、輸送力増強などの努力は行っていく必要があるが、一方多くのお客様に安全・円滑に来場いただくためには集中日をできるだけ避けるような誘導を行う必要がある。

### 日別平準化

#### 地域対策(誘導可能組織・団体対策)

##### 学生団体

- ・ 県教委・市教委を通じてGW等の一般客集中時期を避けるよう調整を行う。また、学生団体来場時期は集中するため、学校間での調整を行っていく。

##### 国・自治体及び関連組織・団体

- ・ 職員の平日来場を推奨する。

##### 愛知県内企業

- ・ 入場券購入にご協力いただいた企業を中心に平日来場を推奨する。

##### 開催地元住民

- ・ 長久手町・瀬戸市・豊田市など開催地元自治体を通し、平日来場の協力を呼びかける。市町村デー等の機会を活かした来場を促進し、分散化を図る。

##### 出展企業・団体

- ・ 出展企業・団体関連の来場において閑散期・平日の来場を呼びかける。

##### 会場周辺大学通学調整

- ・ 周辺地域大学に対して、スクールバスの廃止延期・存続などの協力を要請する。

#### 全国/個人・一般団体対策

##### 旅行会社を通じたプロモーション

- ・ 入場券販売に大きくかわる旅行会社に対して、閑散期・平日推奨の情報を提供していき、誘導していく。

##### 協会ホームページを通じてのプロモーション

- ・ 「日別混雑度カレンダー」を作成、ホームページ上に掲載し、積極的な情報提供を行うことにより快適に来場できる閑散期・平日への誘導を行う。

##### 協会・関連団体広報を通じてのプロモーション

- ・ 協会の一般・交通広報を通じて閑散期・平日推奨の来場を呼びかける。また、関連団体に対しても広報等協力要請していく。

## 時間別平準化

### 博覧会来場者

#### 帰路交通機関情報提供(帰路対策)

- ・ 来場日以前においては会場案内パンフなどにより帰路情報を提供し、来場日当日は、場内ディスプレイにより刻々と変化する交通状況をリアルタイムに提供することにより、帰宅困難者の発生を防止する。

### 協会内・関連箇所調整

#### 催事開催時間調整(帰路対策)

- ・ 遅い時刻の大規模催事は交通機関の最終便までの輸送力は限られているため輸送力不足が生じ、積み残し客を発生させる可能性があるので関係諸機関と調整中。

#### 博覧会スタッフ通勤調整

- ・ 本検証では平日のみ通勤スタッフをリコモ利用することとしたが、計画の熟度に従ってスタッフ輸送を検討し、できるだけ博覧会客、一般客(学生等)の輸送に影響を与えない計画を関係箇所と調整中。

## 対策の方向性(まとめ)

区分	対策種別	対象
日別平準化	閑散期・平日誘導	・学校団体(愛知県内・近隣圏)の集中を調整 ・国・自治体関連組織・団体、愛知県内企業、開催地元住民、出展企業・団体の閑散期・平日誘導
	広報・プロモーション	・全国レベルでの個人・一般団体客に対する対策 ・旅行会社を通じたプロモーション ・協会・関連団体広報
	協会施策	・平日催事の魅力度アップ・プロモーション
時間別平準化	帰路交通機関情報提供	・博覧会客に対しての帰路時間平準化
	協会内・関連箇所調整	・催事開催時間調整(帰路時間平準化) ・博覧会スタッフ通勤時間調整、会場周辺大学通学